

2023.12.14. 木曜礼拝「ヘブライ イスラエル人」 Mac 牧師

イエスの御名に感謝します。特にこの時期は。頭を下げて、祈りませんか？ 主よ、共に集まるこの時をあなたに感謝します。主よ、多くのことが本当におかしくなっていますが、この時期に感謝します。主よ、あなたは不変であり、真実です。私たちはあなたの御名を掲げます。主よ、あなたがこの時期の理由ですから、私たちはこの時期に「イエス」と言います。主よ、あなたの御言葉において、私たちを案内し、導いてください。私たちに明確なものが必要なら、主よ、聖霊が私たちに語ってくださいますように。主よ、私たちはこの時をあなたに感謝します。今晚あなたの御言葉を取り次ぐ、マック牧師をあなたに感謝します。イエスの御名によって祈ります。アーメン。主を称えます。どうぞご着席ください。こんばんは。J.D.ファラグ牧師の代講として、木曜日の夜のライブ配信での「聖書の学び」によるこそ。お越し下さり、オンラインで参加下さり嬉しいです。いつもは、旧約聖書を章ごと、書ごと、行ごとに見ていきますが、しかし今夜は、特別題材の教えです。今夜の学びに入る前に、次回の祈り会は1月9日午後7時から、ここ礼拝堂で行われることを、皆さんにお知らせしたいと思います。可能なら、皆さんが参加されることを祈ります。明らかに、祈ることはたくさんあります。真実を言えば、私たちは決して基盤から離れません。絶え間ない祈りの中、私たちの両手は常に上げられ、目は本物の主に向けられます。様々な宣教のために、祈り続け、もちろんマウイの為に、ここにいる地元の方、その家族のために。そして、J.D.牧師と妻ケリーと、ご家族のことも忘れてはなりません。ですから、主が導いてくださる限り、何度でも祈り続けてください。今夜の学びの前に、祈りの言葉を捧げ、私たちの時間と神の御言葉を祝福して下さるよう神に祈り求めましょう。天の父よ、主よ、あなたがただ、あなたであることに心から感謝します。私たちは、どんな時でも、あなたのもとに行くことができ、それがまさに、私たちのすべきことです。主よ、私たちは今晚、あなたの御前に出て、私たちの学びのために、私たちの守りのために、この教えを祝福して下さるよう願います。いくつか繊細なものに取り組みますが、あなたが私たちの心、耳、思いを開き、このメッセージを私たちの魂に響かせてください。そうすれば、私たちは生き、欺瞞に満ちたこの時代に、適切な証人のとなれます。ですから主よ、どうか私の前を行かれ、あなたの御力、あなたの御言葉の力、聖霊の力で強めてください。力強いイエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン。

今夜の学びテーマは、一般的に「ヘブライ・イスラエル人」として知られるグループについて。そして、私たちが注目するのは、彼らの奴隷制度からの起源です。あなたがこのグループのことを知らないなら、私を信じてください。いつかは知ることになります。私たちは皆、このグループのことを、特に私たちが生きる時代において、注意すべきです。生ける真の神の知識に押し付けようとするあらゆる偽りの宗教、カルト、地上の知識も同様です。さて、このテーマを始めるにあたって、ヘブライ・イスラエル人には、その名を冠した多くの宗派があることを知っておいてください。新約聖書の用い方だけでなく、救いに関する信条もさまざまです。聖書に関しては、彼らは欽定訳のみ、典型的には外典付き 1611 年版を使用します。今夜、聖句に入るときには、明らかな理由から、そこからしか読みません。しかし、もうひとつ共通するのは、人種に対する強い立場です。すべてのトピック的な教えと同じく、これは網羅的なものではありません。これは、彼らについて必要な認識を提供するためです。なぜなら、彼らは反ユダヤ主義の一部であり、国家間の対立の台頭だからです。では、始める前に、このすべての歴史を見ていきます。

「奴隷制度」に多くの時間をかけます。私は前もって、皆さんが恵みをもってお聞きくださるようお願いいたします。私たちはこの方向に進まねばなりません。これを正しく行うために、それを避ける道はありません。ですから、これから取り組むことを理解してください。

では、彼らが現在どのような人物で、何を主張しているのか、その主要部分をざっと説明しましょう。ヘブライ・イスラエル人は基本的に、真のヘブライ人とは、大西洋奴隷貿易の子孫の一部だという信条を持っています。これに加えて、最も人気の宗派のひとつは、有色人種はすべて、イスラエル 12 部族の末裔であり、イスラエルにいる現在のユダヤ人は偽者で、すぐに根絶やしにされると、教えています。そして、これらの宗派の多くは、ヨーロッパ系の人々は、まったく救われないと信じることも知っておいてください。彼らはヨーロッパ人をエドム人と呼びます。中には、ヨーロッパ人は皆、異邦人だと信じる宗派もあり、「救われているかもしれないが、彼らは御国で、それほど重要な役割を果たさない。」と考えます。結局のところ、このグループは白人を非難しています。こんにち、特に、ここアメリカでは、あらゆる人種間の緊張が助長されています。このグループが成長し続けるのは、それがこんにちのシナリオに合致するからです。ヘブライ・イスラエル人であることを自認する、あるいは、彼らの大義を支持する芸能人やスポーツ選手の名前を聞いたことがあるか確かめてみましょう。

「カニエ・ウェスト」(ラッパー)「カイリー・アービング」(バスケットボール選手)「ニック・キャノン」(俳優、コメディアン) 俳優、「ブランドン・T・ジャクソン」王者ボクサー、「ザブ・ジュダ」ニューエイジ・ラッパー、「チンギー」別のラッパー、「コダック・ブラック」「ローリン・ヒル」はどうでしょう？(歌手)この名前はどのようにでしょう？ 次の人物は芸能人でも、スポーツ選手でもありません。「マーカス・ウェイン・シュノー・ジュニア」という名を聞いたことがありますか？ ありませんか？ 彼は「アルバータ・ウィリアムズ・キング」を殺した男です。マーティン・ルーサー・キング牧師の母親を。彼女が教会で、まさに「主の祈り」をオルガンで演奏していた時に。彼は飛び上がり、彼女の頭を打ち抜く前に、「お前は偽りの神に仕えている」と叫びました。彼は、「すべてのクリスチャンは私の敵だ」と言いました。そしてこんにち、彼らの多くが同じように感じています。そのため、ねじ曲げられた聖句に裏付けされた感情的な誤った教えや、健全な教理や歴史的事実を完全に無視し、自分たちが霊的に優位に立ち、権力を握っていると感じさせる思想が存在します。黒人として、私はこのすべてを心から悲しんでいます。またしても、私の同胞が非常に欺かれているのを目にします。

このヘブライ・イスラエル人の神学を取り入れたことで、自分たちが憎むと主張していたこと以上に、ひどくなっていることに気づいていません。彼らは、神の御名のもとに聖書を使い、暴力や人種差別を助長する者すべてを憎むと主張します。彼らは聖書の神に仕えていません。彼らは自ら望んで、あるいは不本意ながら、この世の神に仕えています。また、聖書の神に仕えていると主張しながら、真の生ける神が肌の色に基づいて選民を選び出したと主張する者も同様で、神のご性質そのものを完全に誤解し、言うまでもなく、彼らは最も初歩的なレベルで、御言葉を正しく理解する方法を知りません。これは目新しいものではありません。聖書における人種に関して、ヒトラーが考えたことと多くの点で同じだからです。このアーリア人の支配人種は、クー・クラックス・クラン(白人至上主義団体)内の思想で、特にここアメリカの大西洋奴隷貿易時代の思想と同じです。奴隷の主人はまた、シナリオを推進するために神を利用し、聖句を捻じ曲げました。しかし、繰り返しますが、これは聖書の神のご性質ではありません。私たちはクリスチャンとして、みな神の似姿として創造されたことを知っています。すべての人が。神は人間を創造され、「非常に良い」と言われました。(創世記 1:31 参照)

これには、これから登場するあらゆる民族的背景が含まれます。アダムとエバからノアを経て、このことを考えてみましょう。いいですか？ 洪水で助かった7人の魂。これらすべてが聖句に記されています。また、神は私たちの色素を見ておられることも知ってください。神は私たちの肌の色をご存じです。神は

すべてを創造されました。多くの場合、私たちはこう言います。「神は色を見ておられない。」いや、見ておられます。神は色では判断されません。そこが違います。これを考えてみてください。どの人種も選ばれませんでした。その代わりに、現代のイラクに位置する地上の土地から呼び出された民の中から、一つの国家が召されました。その民はカナン之地を与えられ、カナン人と混血しました。覚えていますか？ それは、イスラエルを含むレバント南部、ヨルダン川西岸、ヨルダン、シリア南部、レバノンです。この召された国家がエジプトに行くことは言うまでもなく、約 400 年後、呼び出され、混血の群れとなって出て行きます。多くのよそ者が彼らと一緒に、やがて国々のあちこちに散らばります。この出来事はイスラエル国内で周期的に起きました。このことに関しては、もっと多くのことが言えますが、私のポイントは、当初からそうだったということ、イスラエル国家を構成する選びの民は、神が意図されたように、さまざまな肌の色と美しさで構成されていました。私たちはまた、真の生ける神が全人類の命について、どのように感じられるかを読みます。「創世記」9章6節に書かれています。御言葉は語ります。

### 一創世記 9:6一

**人の血を流す者は、人によって血を流される。神は人を神のかたちとして造ったからである。**

これが分かりますか？ この神の御言葉は誰に与えられたのか？ ノアです。考えてみてください。これは律法以前の事だと認識していますか？ 神はノアに『生めよ、増えよ』と仰いました。(創世記 9:1 参照)

人類を動物や他の人型動物と結びつけようとするあらゆる努力にもかかわらず、人類という種はひとつしかありません。神は、人間に対する考えを、決して変えられません。人間は、神についての考えを変え続けます。彼らは神の御言葉を持ち出し、人間の想像の中で神を造ります。これは、聖書本文や聖書の概念と個人的な繋がりがあるときに、思った以上頻繁に起こります。それに貧弱な聖書解釈が加われば、大惨事です。ということで、このグループに関する物事を見通せるよう祈りつつ、いくつかの歴史に触れていきます。また、サタンがあらゆるタイプのカルトや偽りの教えをもたらす際に、同じ手口を使うことも明示します。ヘブライ・イスラエル人に関して、基本的な調査では、ここアメリカでのこの思想は、1800年代後半、1890年ごろまで遡れます。「ウィリアム・サンダース・クラウディ」という名の黒人は、アフリカ系アメリカ人がイスラエル人の真の子孫であると説き、主張した最初の人物の一人です。彼は「神の教会とキリストの聖徒 (Church of God and Saints of Christ)」の創設者です。こんにちに至るまで、この教会は最大のユダヤ系イスラエル人の運動を行っています。歴史的記録によれば、クラウディはメリーランドの農園で奴隷として生まれました。また、父親の影響で幼少期から信心深かったそうです。クラウディは奴隷の主人から逃げました。彼はその後、調理師、労働者、そして南北戦争では北軍の兵士として従事しました。そして、彼は自由を得ました。その後5、6年は陸軍に残り、バッファロー・ソルジャーとして活躍しました。除隊後、オクラホマに移り住みます。彼がそこに移り住んだ頃は、黒人がリンチされ、実際に餌食となっていた時代でした。ジム・クロウや、その他の台頭する人々のせいで。そこでクラウディは、バプテスト派の説教者になろうと決心しました。彼がそうした途端、「声が聞こえ始めた」と言われています。「神は私に語られた。」聞き覚えがありますか？ ジョセフ・スミスのこと。(末日聖徒イエス・キリスト教会、通称モルモン教の創始者) そのため、人に話しかけられても気づかないほどで、彼はトランス状態でした。だから、世間は彼は狂っているという理由で監禁しました。しかし、そのようなとき、彼は明晰さを取り戻し、聖書を語るのです。彼を監禁していた人々は、彼が社会にとって深刻な脅威ではないと判断し、釈放しました。彼は、それらの苦難に耐えるよう神に召されていると感じま

した。それは、そのような人生経験、いわば彼の宗教的熱意、生き立ち、彼が目撃し続けた悲劇から生まれ、非常に乏しい聖書解釈と、頭の中で聞こえた神からの声と共に、クラウディは、アフリカ系アメリカ人が古代イスラエル人の真の子孫であるという啓示を受けました。彼の見解では、アメリカで起こっていることは、神の選びの民が神に背いたときに常に起こってきたことの延長に過ぎないと。このことは、「申命記」に記された、神の選びの民に約束されたすべての呪いにより、彼にとっての確信となりました。そこで彼は今、あらゆる場所でこのことを説教します。その当時の文化を考えてみてください。黒人には居場所がありませんでした。彼は旅をする先々で自分の新しい啓示を説き、オクラホマ、カンザス、ヴァージニア、ペンシルベニア、ニュージャージー、ニューヨーク、イリノイ、それ以遠にも足を運びました。彼はこの愚かなことを説きながら旅をしました。しかし、繰り返しますが、それはすべてアフリカ系アメリカ人がほとんど、いやまったくアイデンティティを持たなかった時代のことです。だから、この言葉は人々の心に響きました。だからこそ、彼は力をつけました。それをすべて、聖書を使って行いました。では、現代に話を早送りしましょう。現在のヘブライ・イスラエル人がこの絵を描くために使う、主要な錨の節のひとつは、「申命記」28章68節にあります。御言葉は語ります。

#### —申命記 28:68—

**私がかつて「あなたはもう二度とこれを見ない」と言った道を通して、主はあなたを船で再びエジプトに戻される。あなたがたが、そこで自分を男奴隷や女奴隷として敵に身売りしようとしても、買ってくれる者はいない。**

ヘブライ・イスラエル人にとって、この言葉は、大西洋奴隷貿易を指しています。ここでもまた、乏しい聖書解釈、また帰属願望ゆえに、彼らはそこに行き着きます。しかし、彼らが気づいていないのは、キリストにおいて私たちは皆、属する場所があるということ。クリスチャンであることは、神の御子である人の子（イエス）を信じるすべての人を、敢然として含む最も限定された信仰に属することです。まず、私たちはこの節を最初に見て、ヘブライ・イスラエル人が申命記のこの章にある呪いはすべて、有色人種に対する呪いだと思っていたことも知ってください。しかし、私たちの目の前の本文を検証してみると、「主は、あなたを船で再びエジプトに戻される」と書かれていました。ただ彼らをエジプトに連れて行くのではなく、「再び」エジプトに連れて行かれると。「主は、あなたを船で再びエジプトに戻される」と書かれていました。ただ彼らをエジプトに連れて行くのではなく、「再び」エジプトに連れて行かれると。「主は、あなたを船で再びエジプトに戻される」と書かれていました。ただ彼らをエジプトに連れて行くのではなく、「再び」エジプトに連れて行かれると。ここは民が最初に奴隷になった場所で、かつてはエジプトで奴隷だったからです。しかし、ヘブライ・イスラエル人はこの節のエジプトという言葉、「奴隷や束縛の形」という意味に誤って解釈します。分かりますか？ それが彼らにとって、この節にあるエジプトの意味です。その思考回路と「船」という言葉を組み合わせれば、「おお、これが証拠だ。

大西洋奴隷貿易を指している。」これに関して非常に興味深いのは、「エジプト」という言葉が27節と60節にも出てきており、これは実際のエジプト国家を指します。では、なぜエジプトの地という文字通りの意味から突然外れたのでしょうか？ 考えてみてください。聖書学者でなくとも、このことは理解できるはずですが、「エジプト」という言葉をヘブライ語から訳すとき、なぜそうする必要があるのかさえ分かりませんが、それは「エジプト国家」を意味します。類型論的に言えば、「世界」。その通りです。しかしここでは、エジプト国家は、奴隷や束縛の象徴ではありません。聖書がエジプトについて語る時、それはエジプトのことです。聖書は、聖書そのもので解釈するのが一番です。なぜなら、誰でも聖句やたとえ

話を、どんなシナリオにも当てはめられるからです。それは、よくあることです。しかし、神は、これらの偽教師や偽教理に対しても、最後にはご自分のご方法を取られます。悲しいことに、その多くが受け入れられつつあります。真理を拒絶するとき、それが起こります。私は皆さんに勧めます。どうか時間をかけて、神の御言葉を知ってください。この本文は、限りなくわかりやすいものです。「申命記 28 章」に至っては、これらの呪いは、大西洋奴隷貿易が始まった 1500 年代より以前に、時を経て成就しました。

実際、ユダヤ人の歴史家フラウィウス・ヨセフスは、この特定の節を扱ったとき、その事実を記録しています。「イスラエルの子たちの多くが捕らえられ、第二神殿が破壊された何年も後に、過酷な労働に耐える場所となったエジプトへ送り返された。これに加えて、ユダの地にあったユダヤ人最後の要塞であったベターの要塞は、西暦 135 年にローマ皇帝ハドリアヌスによって破壊された。」

皇帝の軍隊がその地域内で、できる限り多くのユダヤ人を利用し、売り払ったとき、記録には続けてこう書かれています。引用します。「そこで売られなかった者たちは、船に押し込められ、エジプトに連れて行かされた。多くの者が輸送中に飢えや難破で命を落とし、残酷な主人によって殺された者も多かった。」誰も買わなかった人々のことです。この預言は成就し、その記録は複数の証人によって明確に記録されています。では、もう一度明確にしたいと思います。私たちがこれから話すことは、いずれも黒人のイスラエル人やイスラエルに属する有色人種がいなかったということではありません。そのことはすでに確立したと思います。実際、彼らのほとんどは、肌の色が濃かったでしょう。私ほどではない濃さですが、言いたいことはわかりますね？ — (笑) — 彼らがこんな黒人だったとは言ってませんよ。— (笑) — だって私は、完全にアフリカ系だから！ ストレートの！ — (笑) —

でも、言いたいことはわかりますね。確実に、現代のヨーロッパ人よりも黒いです。誰もが分かることです。私たちは中東について話しています。さて、これは大西洋横断奴隷貿易に、アフリカ西海岸からの子孫が全くいなかったと言っているものではありません。あり得ますが、その中には、ローマ帝国の占領下でユダヤから解放された人々も含まれるかもしれません。あり得ます。歴史家の中には、その間に 100 万人もの黒人ヘブライ人が逃亡したと言う人もいます。しかし、そうだとすると、それが真実なら、推定 100 万人の黒人ヘブライ人が、1500 万人を超えると推定されるアメリカに連行された奴隷の数に、どういうわけか引き込まれたということになります。また、途中で亡くなった 100 万人以上の人々がすべてヘブライ系だったというのも、おかしな話です。他にも触れておくべきことがあります。これは、あまり触れられません。私が話すのは、奴隷制度とアフリカ人を扱う時のことです。まず、明確にさせましょう。アフリカの奴隷貿易は、アフリカ人の全面的な支援なしには起こり得ませんでした。絶対に起こり得ませんでした。〈アフリカ人がアフリカ人を売る〉私が「全面的支援」と言ったのは、多くの人が、それは限られたことであり、彼らは強制されたのだと言おうとするからです。そうではありません。アフリカがどれだけ広いか知っていますか？ アフリカの権力者たちは、自分たちのために捕らえた奴隷たちよりも、商品のほうが重要だと考えました。そのため、彼らは何世紀にも渡り、この活動を続けることになります。最終的には、植民地主義につながります。しかし、それは完全な遵守から始まりました。完全な。今、アフリカのこれらの地域は利用されているかもしれませんが、しかし、それは侵略軍によるものではありませんでした。全く違います。アフリカを侵略するほどの資源を持つヨーロッパの大国や、世界の大国は存在しませんでした。侵略するため？ 全く違います。彼らの多くはジャングルで病気になりました。これは組織的な取り組みでした。これが事実です。彼らはシナリオに合わないの、見過ごされます。そしてまた、このシナリオは、大西洋奴隷貿易の責任は白人だけにあると構成しています。それがシナリ

オです。たとえそうでなくても、私は決して、その奴隷や他の奴隷の扱いを言い訳にするつもりはありません。しかし、奴隷制度は人類が誕生したときから存在していました。それが事実です。奴隷制度が注目されるのは、ヨーロッパ人に関連するアフリカの奴隷貿易を扱った時代だけというもの、おかしいと思いませんか？ 世界的に起こった想像を絶する奴隷問題をすべて無視して。それがシナリオだから。奴隷制度が問題になるのは、肌の色が違う場合だけのようです。問題になるのはその場合です。その思想は、ああ、多くの点でこんにちにも当てはまります。では、ポイントを示すために、回り道をさせてください。考えてみてください。「ブラック・ライブス・マター/黒人の命が重要」というのは、白人や警官に奪われたときだけのように見えるからです。事実です。人種問題や社会正義を主張する連中が大挙して押し寄せてくるのは、そういう時です。「仕事に行く時間だ。」これは、奴隷貿易の一形態に過ぎません。私はそう呼びます。黒人は、人種を手段として、亡くなった他の黒人の背後で金儲けをしています。黒人は、人種を手段として、亡くなった他の黒人の背後で金儲けをしています。考えてみてください。それが心からのものなら、なぜアル・シャープトン（黒人運動家）は葬儀に2万ドルも要求したのか？ 黒人同士の犯罪に対処する努力は見られません。なぜか？ お金が入って来ないからです。儲かりません。これらの人々は、賃金を得続けるため、目的のために、人種的緊張を必要とします。これが、多くの場合、彼らの唯一の目的です。YouTube チャンネルや組織全体を、このためだけに捧げる人々がいます。それが外側で十分起きていない時は、…何だと思えます？ 彼らは捏造するか、明らかに合わないものを取り上げ、とにかく問題を強行します。人々は本当に愚かなので、それを信じてしまいます。誰も何の調査もしません。流行に飛びつくのは、それがこんにちのやり方だから。最悪のゴミに。アメリカでは簡単に儲かり、彼らはそれを知っています。そして、私にとっても驚くべきことは、黒人は白人の全面的な支援がない限り、このようなことはできません。分かりますか？ メディアは誰のものか？ これらは何一つ出てきません。事実です。これを知ってください。アメリカでは、白人が人種差別主義者だというこのシナリオは真実ではないことを。どの民族の中にも、人種差別主義者は必ずいます。悲しいことですが、白人コミュニティの中で、大きな事件が起こると言っておきましょう。あなたがたから、ある黒人に向けた事件が。誰かがそれをやります。時間の問題です。それを活動家たちは待っています。そして、それは再燃します。BLM（ブラック・ライブス・マター）運動や、その他の組織は、そのために台頭するでしょう。だからこそ、これと連動し、白人を悪者にするシナリオを推し進めているのです。それが軋轢です。ある時点で、誰かが犠牲になります。それはすべて、この思想を存続させるためのシナリオに合わせ、そのような行動を起こす弱い心を感染させるために、行われています。考えてみてください。だから、「大西洋奴隷貿易を存続させている」？ それは彼らに、歴史的な言い訳を提供します。しかし、大西洋奴隷貿易の前に、サハラ砂漠横断奴隷貿易がありました。1000年以上続き、大西洋奴隷貿易の後、1800年代後半まで、完全に終わることはありませんでした。サハラ砂漠横断奴隷貿易では、アフリカ人が他のアフリカ人を、主にアラブ人に売買しました。これはまた、アフリカでイスラム教が広まった大きな要因でもあります。なぜか？ アラブ人は奴隷を手に入れるため、最終的にはアフリカの東海岸、さらに中央アフリカや南アフリカまで行かねばならなかったからです。なぜか？ 彼らの掟によれば、いったんイスラム教徒になれば、もう奴隷にはなれないからです。ついて来ていますか？ 言い換えれば、北部のアフリカ人がイスラム教に転じたとき、「我々はもっと遠くへ行かないと。さあ、行こう。もう、彼らを連れて行くことはできない。私たちの仲間なのだから。」だから、アラブ人は奴隷を見つけるために、アフリカのさらに奥深くまで行き続けました。ですから、アラブ人は他の地域に焦点を移さねばならず、そうしま

した。最大 2700 万人のアフリカ人奴隷が、アラブ人に取引されたと考えられています。彼らは何と取引するのか？ 武器、布、塩など。ある学者はこう続けます。ちなみに、黒人の学者です。

引用：「アフリカの首長や王が、他のアフリカ人を奴隷として飢えたアラブ人に売り始めたとき、彼らは、その大陸で最も進んだ社会の文明を弱体化させ、彼らの進歩をさらに妨げ、さらに 2000 年にわたって彼らの人種全体を衰退させるという一連の出来事を引き起こした。仲間を売ることが富の主な源となった時に。アフリカの指導者たちは、アフリカの生活の中で最も素晴らしいもの、つまり、友人であろうすべての人々との共同体や血縁関係といった意識からますます遠ざかっていった。」

今度は、世界の他の地域が、なんらかの商品によって、アフリカから安価な労働力を得られることを耳にしました。「そのために戦う必要はない？ 私は参加するよ。」彼らはそれを狙いました。しかし、こんにち、歴史から忘れ去られようとしている最も広範な奴隷貿易は、おそらくこれです。ローマ奴隷貿易です。特にローマ帝国時代の。他のものとは比べものになりません。〈ローマ奴隷帝国〉実際、ローマ帝国の 5 分の 1 近くが奴隷だったと推定されます。5 人に 1 人が。つまり、約 1000 万人以上の奴隷が絶えず入れ替わっていたこととなります。彼らは早死にしたからです。だから、その代わりに人々を奴隷にし続けねばなりませんでした。それは、毎年約 50 万人の新しい奴隷が生まれることに相当します。25 年後には、1,250 万人以上の奴隷がローマ人によって連行されることとなります。そのほとんどが、ヨーロッパ系出身でした。そして、信じられないでしょうが、7 世紀から 8 世紀にかけて、アフリカ人とアラブ人はともに、このヨーロッパ貿易に参加します。しかし、アラブ人がヨーロッパ人奴隷の大部分を手に入れます。というのも、思い出してください。奴隷を売ることがアフリカ経済の主役になったからです。ここで、時間を進めましょう。アフリカを取り巻く世界は、アフリカのほとんどの地域が後退し弱体化する間に、多くの奴隷を使いながら進歩し続けました。自国民を過小評価し続け、やがてやってくる植民地主義と搾取の格好の標的となります。こんにちでも、アフリカは全世界から搾取されています。アメリカを含め。皆が「グリーン、グリーン化！」と叫んでいます。材料はどこから来るのか？ そのほとんどはアフリカからです。その子どもたちが、鉱山で働いています。人間には適さない場所で。ソーラーパネルや、車のリチウム電池もそうです。おめでとう。そのせいで、500 万人のアフリカ人が死んでいると言ったら？ でも、あなたは気にしない。アメリカ国内でない限りは。彼らは、現代の奴隷です。一般に信じられていることとは反対に、アフリカの人々が滅び続けている主な理由は、結束の欠如だけではありません。それは問題ですが、植民地主義だけではなく、理由は、社会的なものでも、経済的な構造でもありません。進化論に関して黒人について書かれてきたことも、彼らの滅亡に大きな役割を果たしています。かの有名なチャールズ・ダーウィンは、人間の進化について語る時、『人間の由来』という著書の中で次のような言葉を残しています。引用します。「何世紀単位で見れば、それほど遠くない将来のある時期に、文明化された人種は、ほぼ確実に世界中で未開人種を根絶やしにし、取って代わるだろう。その場合、人間と最も近い仲間との間の断絶は、さらに広がるだろう。現在のように黒人、オーストラリア人、ゴリラの間に介在するのではなく、コーカサス人よりもさらに文明化した状態の人間と、ヒヒのように下等な猿との間に介在することになるからだ。」だからウクライナでは、白人ばかりの隣国の国境に黒人が入れないことへの非難の聲がのぼっています。そして、あなたは悲鳴を上げ、なぜなのかと疑問に思います。こんなゴミを教えられたら！ もし私が、人種差別を不当に利用する事があったとしたら、それは進化論でしょう。進化論は人種差別です。どこでも、教えられるべきではありません。要するに、奴隷制度は悪魔のものです。それは決して、神によって定められたものではありません。神は、墮落したこの世に

おける悪魔の奴隷制度に関して、人間に希望と導きを与えられます。聖書の奴隷制度と、人間の墮落が生み出した奴隷制度には、決定的な違いがあります。まず第一に、聖書に登場するイスラエルの奴隷は、律法の観点から報酬を与えられ、保護されていました。過酷な扱いを受けることは、まったくなかったはずです。繰り返しますが、奴隷制度を是認しているとして、神を非難しませんように。あなたは聖句を知りません。殺し、強姦し、略奪し、殺害するこの種の奴隷制度は、人間のものでした。人間は神を顧みず、命を顧みなかった。そこで神は、神の愛において、悪魔的な世の中から民を取り出し、この民を特別な民とする助けになるよう、償いの方法として機能し、悪を抑止し、憐れみを行使する律法を与られました。そのため、イスラエル国家には当初、牢獄や刑務所がありませんでした。このような奴隷制度は、多くの問題に対する答えであり、その対処法でした。これはモーセの律法の一部で、人が本人の意思に反して人々を連れ去り、売ることを禁じていました。聞いていますか？「出エジプト記」21章16節に書かれています。御言葉は語ります。

#### ー出エジプト 21:16ー

**人を誘拐した者は、その人を売った場合も、自分の手元に置いている場合も、必ず殺されなければならない。**

これが分かりますか？ 繰り返すと、強制的な奴隷制度は、真の生ける神によって容認されたことは一度もありません。実際、神は誘拐を最も忌まわしい罪の一つとして挙げておられます。そのことは「第一テモテへの手紙」1章10節にあります。それは、すべての奴隷貿易に伴うものです。誘拐し、その人の意に反して売買すること。それは聖書の奴隷制度ではありません。違います。イスラエル国家を通してさえ。律法が存在しました。「レビ記」25章38節から46節、彼らは、雇われの使用人や奴隷として自ら売られたヘブル人と、近隣諸国から買えた奴隷とを区別するように言われました。しかし、彼らが奴隷を買ったときも、ルールは依然として適用されます。同じ水準ではなく、違いはありましたが、その違いがあったとしても奴隷は守られました。イスラエル国家で奴隷がどのように扱われているかを知る者は、より良い生活のために、自ら進んで身を売りました。信じられなくとも、奴隷として仕えていた人々の多くは改宗し、真の生ける神を礼拝し始めました。神を拒絶する世にこれらの律法を定めたのも、それが神の目的だったのかもしれませんが。私たちはそのような次元では考えません。私たちは、「どうして神が？」と考えます。私たちが自問すべきは、「なぜ神は悪魔的な世を救おうさえ考えられるのか？」繰り返しますが、聖書は奴隷としての奉仕の期間に関する制限、家族と奴隷に関する規則、先ほど話したように、すべての奴隷の扱いについて教えています。そして、これは旧約聖書だけの概念ではありませんでした。これは聖書全体を通して一貫し、標準的なことです。「コロサイ人への手紙」4章1節に書かれています。御言葉は語ります。

#### ーコロサイ 4:1ー

**主人たちよ。あなたがたは、自分たちも天に主人を持つものだと知っているのですから、奴隷に対して正義と公平を示しなさい。**

神の御言葉の中の、これらのことばが分かりますか？ 繰り返しますが、神は人間が作り出したこの恐ろしい生活水準に基づき、人間が正しく行動する道を与えられました。神が介入されます。しかし人間は、人間が最も得意とすることをします。神を疑い、神に反逆すること。さて、私が示したかったのは、アフリカの奴隷貿易に関してはそれが唯一の奴隷貿易ではなく、奴隷の売買はすでに確立されていたということ。アフリカ人は実際に他のアフリカ人を奴隷にし、武力や武力行使の脅し無しに、彼らをヨーロ



ツパ人に売りました。アフリカから奴隷として売られた人々が、イスラエル国家出身者限定であるはずがありません。むしろ、その割合は非常に小さいでしょう。しかし、ヘブライ・イスラエル人は『バビロンからトブクトゥへ』というような本を参照しています。これらをご紹介します。『聖書における黒人の存在』、『船で再びエジプトへ』の中で、この点を証明しようとしています。これらは彼らが使う、ほんの一部に過ぎません。考えてみてください。この、こんにちの奴隷制度に関して好まれている視点について。人種分断の継続的な推進、黒人のアイデンティティの危機、進化論、神の神聖な計画への無知、これらすべてが、限定されたイスラエルの黒人や有色人種というテーマを推進するために利用されています。これは彼らの教理の一面に過ぎません。今夜は時間がないのでこれ以上触れませんが、これはいわば、こんにちの注目テーマです。それは近づいていて、彼らはこの島にいます。彼らは、どの主要都市にもいます。多く的人是は繁華街には行かないかもしれませんが、彼らはそこにいます。非常に攻撃的なグループもあります。YouTube でチェックしてみてください。実際、私はこれを言いました。チック・フィレイの CEO は、(クリスチャン企業ファストフード) ある黒人の靴を磨きました。(テレビ番組の中で) 教理に賛同する者の。彼がそうだとは言っていない。その行動で、人々は「おお、それはいいね。」と。いや、いや、違います。これは良くありません。全く良くありません。私の勘違いでなければ、テレビの映像で…間違っていたら訂正してください。しかし、その人物、その黒人の靴は、同じテーマに沿ったものでした。見てみてください。それが彼らが推進することだからです。祈りながら、ここで述べたことが、私たちにいかなる形の人種の盲目ももたらさないよう、私たちを守ってくれるでしょう。私たちは皆、キリスト・イエスにあって栄光の絆で結ばれています。これらすべては、悪魔の仕業です。私たちはこれらの人々のために祈る必要があります。彼らのために祈ってください。彼らは欺かれ、サタンに利用されています。聖句を知ることは非常に重要です。彼らは聖句のねじ曲げ方を知っているからです。あなたが聖書に固く立っていなければ、ねじ曲げられてしまいます。私はここで、このグループに遭遇した人々を知っています。彼らがあなを毘にはめたことは、このようにしてわかります。

「あのね、私がなぜこれを見ているかって言ったらね…」と言うとき。あなたは自分の立場を変えました。ここでひとつ、言いたくないのですが、ここで一つ。あるグループが近づいて来て、イエス (JESUS) について非常に質問され、ヘブライ語には「J」がないと言われました。「だから、私たちはイエス (JESUS) を礼拝すべきではなく、イエシュアを礼拝すべきだ。"J"は正しくない。同じイエスではない。」と。初歩的なことに聞こえますよね？ 事実です。彼らはそこからスタートし、圧力をかけ続けます。つまりはなりません。彼らのために祈ってください。聖句を知ってください。締めくくりに、「使徒の働き」17章 26 節から 27 節をお読みします。これは神のことです。

#### 一使徒の働き 17:26

神は、一人の人 (一つの血) からあらゆる民を造り出して、地の全面に住まわせ、それぞれに決められた時代と、住まいの境をお定めになりました。

#### 一使徒の働き 17:27

それは、神を求めさせるためです。もし人が手探りで求めることがあれば、神を見出すこともあるでしょう。確かに、神は私たち一人ひとりから遠く離れてはおられません。

「一つの血」このような人種間の緊張が悪化しようとも、クリスチャンとして、私たちは皆、一つの血を引いていることを知っています。そして、このお方 (イエス) の血によって、私たちは皆、罪の縛りから解放されたことも知るべきです。重要なのはその血です。私たちは皆、一つの人種です。これに従えば、

このグループや、人種に基づいて近づいてくる他の誰に対しても、何の問題もなく対処できます。皆さん、お立ちください。祈りましょう。

天の父よ、私はあなたに感謝します、主よ。多くの情報がありますが、ただ、それがあなたによって力強く用いられ、人々があなたの示されたメッセージを聞けるよう祈ります。主よ、これは難しいテーマでしたが、私たちが生きる時代にはとても必要なことで、あなたは、「国は国に、民族は民族に敵対する」とおっしゃいました。(マタイ 24:7 参照)

私たちは、唯一の真のグループ、それはあなたの御名のもとに、あなたの血によって結ばれるグループの中にいるので、とても祝福されています。どんな圧力が来ようとも、常にそこにとどまり、左にも右にも傾かず、不動であり続けることができますように。私たちはひとつの家族の一員です。私たちがこの世の愚かさに惑わされることなく、その姿勢を保つことができる力を与えてくださることを、あなたに感謝します。私たちはあなたを愛し、褒め称え、あなたに感謝します。イエス、イエシュア・キリストの偉大な御名によって祈ります。アーメン。

---

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7